

「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」及び 「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」について

- 放課後等デイサービスガイドライン（以下「ガイドライン」）は、放課後等デイサービス事業所における自己評価に活用されることを想定して作成されたものですが、各事業所で簡易に自己評価を行うことができるよう、ガイドラインの内容を踏まえた「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」を作成しました。ただし、この自己評価表を活用してより適切に自己評価を行うために、事業所関係者に対しては、ガイドライン本文を熟読することをお薦めします。
- さらに、放課後等デイサービスを利用する子どもの保護者等による、ユーザー評価に活用していただくために、より一層簡素な「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」も併せて作成しました。
- 上記の2つの評価表はあくまで「雛型」であり、事業所等でこれに適宜加除修正を行って活用していただくことも可能ですし、どのような形で活用するかも自由ですが、2つの評価表の基本的な活用方法としては、以下の手順を想定しています。

ステップ1 保護者等による評価

○事業者から保護者等に対して、「保護者等向け評価表」を配布してアンケート調査を行う。保護者等からの回答は集計し、特記事項欄の記述を含めてとりまとめる。

ステップ2 職員による自己評価

○事業所の職員が「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」を用いて自己評価を行う。その際、「はい」「いいえ」などにチェックするだけでなく、各項目について「課題は何か」「工夫している点は何か」について記入する。

ステップ3 事業所全体による自己評価

○職員から回収した評価表を集計の上、職員全員で討議し、項目ごとに課題や工夫している点について、認識をすり合わせる。
○職員間で認識が共有された課題については、改善目標を立てる。討議の結果は書面に記録し、職員間で共有する。
○討議に際しては、保護者等に対するアンケート調査結果も十分に踏まえ、支援の提供者の認識と保護者等の認識のずれを客観的に分析する。

ステップ4 自己評価結果の公表

○自己評価結果の公表の仕方については、基本的には「改善目標」や「工夫している点」の主なものについて、できるだけ詳細に発信する（「はい」「いいえ」の数の公表を想定しているものではない）。
○保護者等のアンケート調査結果は、保護者等にフィードバックする（対外的に公表することまでは前提としない）。

ステップ5 支援の改善

○立てられた改善目標に沿って、支援を改善していく。

- 業務改善に真摯に取り組む事業所ほど、公表される自己評価結果には、改善目標に関する記述が多くなされるものと想定しています。
- また、（地域自立支援）協議会や事業者団体において、これら評価表を使った自己評価結果の事例発表を行う機会を設けるなどにより、自己評価の取組が広がっていくことを期待しています。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	4			・机を折り畳み式の物にし、移動させて広いスペースが 確保できるよう配慮している。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	2		・放デイにおいては加配の人員を配置できるよう調整 している。 ・長期休みなど児発の開所が出来ない日があるが、開所時の 人員は適切である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか	1	3		・開所前には細かな段差はできないよう工事を実施。 ・トイレに1段の段差はあるがスロープの設置は可能。 ・トイレに段差はあるがスロープを設置することも可能。 ・駐車場は砂利ギリギリに駐車すれば問題ない。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 しているか	3	1		・月1回の会議内で振り返りをしている。 ・会議、ミーティング時に話し合いが出来ている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか	4			・対面では児発管により適宜聞き取りを実施し改善を している。 ・評価表によるアンケートは今回初実施。 ・改善点を話し合い、より良い経営を目指している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか		2	2	・ホームページで公開するためページを作成済み。 ・今回が初めてのため。 ・1回目のアンケートでまだできていない。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか		1	3	・現在未実施。 ・今回が初めてのため。 ・していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	4			・平均月4回以上となるよう外部研修を受講している。 ・外部研修の参加や伝達講習を実施。
適切な支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・多職種協力のもとおこなっている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		・領域によって複数検査から選択しST中心におこなっている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・職員会議にてプログラム立案、細かな調整を おこなっている。 ・毎月会議で立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	4			・月2回の音楽療法以外は固定化しないよう調整、検討 している。 ・児童がイレギュラーにも対応できるよう固定化しないよう 意識している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	4			・利用時間に応じてプログラムや課題内容などを調整して 支援している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせて放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	4			・利用者様方の状況に応じた計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか	3	1		・前日降所後、または当日登所前に打ち合わせを おこなっている。 ・定着させていきたい。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、気 付いた点等を共有しているか	3	1		・送迎終了後に打ち合わせをおこなっている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・活動毎に記録を取り職員間でのフィードバックを おこなっている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・3～6か月以内に状況に応じておこなっている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4			・自立支援、創作活動を中心に総則の基本活動にある全ての活動をおこなっている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			・児発管のみならず、保育士や言語聴覚士など専門分野の支援員も対応体制がある。 ・児発管、管理者、支援員で参加。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			・送迎時を中心に必要に応じて電話にて連絡をとっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			2	・無回答2 ・現状医療的ケア児の受け入れ体制は無し。 ・現在居ない。 ・医療的ケアが必要な方のご利用はないため。 ・受けていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2		1	・無回答1 ・相談支援事業所とは情報共有をおこなっている。 ・現在実例がなく今後努めていく。 ・ さま、 さま、 さま、 さま
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1		1	・無回答2 ・来年度実施予定であり、情報整理に努めている段階。 ・現在前例がなく、今後努めていく。 ・現状、まだなので今後実施する予定あり。 ・まだ卒業生がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2		2	・専門機関の関係者が講師をしている外部研修は適宜受講している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1		・学生ボランティアや園児さんとの活動機会あり。 ・学生ボランティアの受け入れ。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4			・ご案内がある毎に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			・連絡ノート、HUGコメント、送迎時に口頭で可能な限り内容や様子等について詳細に伝達、やり取りしており共通理解となるよう心掛けている。 ・送迎時にお話しさせていただくことが。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2		1	・無回答1 ・集団での実施はできていないが個別では利用者様への理解が深まるよう支援している。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			・児発管より説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・児発管のみならず全職員が適宜密に実施している。 ・その場で判断できないものは職員間で共有しあらためてお伝えすることもある。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	3	・現状準備中であるがLINEのオープンチャットを利用して交流の場を設ける予定。 ・まだ出ていないが今後コミュニティの交流の場を設ける予定です。

非常時等の対応	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・ 新たに対応できるようになった事などHUGお知らせで周知している。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・ 活動概要についてはHUGのサービス提供記録の活動内容、行事予定についてはお知らせのイベント項目で記載。 ・ おたよりを写真付きで発行している。 ・ HUGとおたより。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4			・ 鍵付き書庫にて管理
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			・ 無回答1 ・ 利用者様と保護者様のコミュニケーションは強みに応じて代償手段を用いたり支援をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	1	・ 行事への招待はしていないが事業所や利用予定の方のみならず地域の方へも随時施設見学の受け入れをしており、地域出身の県議会議員の方も見学に来られている。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1		・ 職員へは周知済みであり保護者様へは手に取ってご覧いただけるよう配置していたが、周知には至っていない印象であるため、配置場所の変更を検討している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・ 地域のJアラートに合わせた避難誘導訓練やプロジェクターを利用した机上訓練などを3月～現在までに4件実施し12月は防災センターにて実施予定。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・ 入職毎に研修を実施、外部研修も最低年間1回以上可能な限り受講している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1		・ 現状拘束が必要となる利用者さまはいないが、「切迫性」「非代替性」「一時性」の要件を満たし、かつ当該児童と他の児童の心身状態に影響があると予想される場合には経過や再検討をおこなうことを前提に説明及び同意を得る。 ・ 現状いない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2		・ 現状は施設で提供が不可能な生のエビ、カニのアレルギーを持つ利用者様はいるが、提供の可能性がある物の場合には児童の安全を第一に考え契約時に別途協議をおこなっていく。 ・ 生のエビカニになど提供しないものである。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・ 安全対策委員会およびミーティングにて情報共有し対策案を検討している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1		可動式の机やイスを使っているのだと動かせて広いスペースができる感じです。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	2		無回答：1
適切な 支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	16			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	16			子供の成長に合わせてプログラムを作って下さっている感じです。夏祭りの企画、とても子どもがよるこんでました！
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	8	4	
保護者への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16			帰りの送りの時に今日の出来事を教えて下さいます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	8	4	活動あるのか知らず...すいません（汗）
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16			携帯電話でみれるアプリで事業所での様子を写真つきで見れるのが嬉しいです。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	15	1		
非常時 等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	3		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	4		

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	16			すごく楽しみにしています。 (花丸)
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16			大変満足しています。 とても良い事業所に入れて嬉しかったです。 (花丸)

-
- i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
- ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。